■横川中学校区 C-1　【理想の暮らしとありたい姿】

第1回　八王子市のみんなの未来を考えるワークショップ

施設・設備の充実

- 子供達が集って遊ぶ広場がない
- 魅力のある公園作りをしてほしい
- 元八王子の都有地を自然を生かした公園化
- 森の美術館も(現在の市美術館は大きな画廊)
- 幼児・高齢者のためにくつろげるベンチの設置
- やさしさの町づくりのためにも
- 伸び伸び遊べる子どもの場所の確保
- 元八王子地区は市民センターがもう一か所あってもよい
- 議場での結婚式を行えるようにする
- 広場のない公園(規制が多い)
- 自然に恵まれた北浅川のすばらしい景観や野鳥樹々を多くの方に知ってほしい

空き屋の活用

- 空家を自由にリフォームする

安心・安全

- 安心安全の確保
- のびのびとした子供
- 道路の整備
- 高齢者がどこに住んでいるか把握できていない

利便性の向上

- 市バスを増やし目的地まで30分で行ける
- 不便な所を走るハチバスの回数を増やす せめて1時間に1本でも、市営バスを走らせたい

暮らしに便利

- 高齢者が市役所に行かなくても対応してもらえる
- 自宅から全ての申請が簡単にできる
- 申請手続きの簡略化
- ネットでの色々な申請ができるよう若い人に手伝ってもらう
- 河川敷にキッチンカーを 夜は映画鑑賞
- 【一人暮らしの高齢者】 介護ロボットが生活の補助をしてくれる
- 【学生】 図書館が24時間開館している

交流・つながり

・多世代　あらゆる交流の仕方
・男女
・昔から住んでる人と新しい人
・場

- 高齢者のおしゃべりする場として 学校を開放する
- 学校を開放し地域の人と交流の場としたい
- 交流の場作り
- 地域の催し
- 町会の繋がり
- 市民センターのロビーをみんなの憩いの場に 部屋の利用者だけのものじゃなくホットな地域センターに
- 高齢者の会話する広場を
- 地元の方と新しい住民との交流の場づくり
- 地元の議員との対話集会を開く(テーマを決めて)

歴史を知る

- 八王子市の歴史を踏まえた未来
- 戦争の歴史を知ってほしい 八王子空襲・戦死者
- 横川の歴史を前面に出すことができることが必要
- 地区の歴史が勉強できる場所があるとよい
- 未来を考えるには過去の歴史を知ること

- キーパーソンを見い出す

・横川には女性活躍の歴史がある

女性の活躍

- 南多摩高校の創設者の横川楳子氏のことなども表に出しては
- 横川楳子さん(第四校女)
- 女性の活躍の場が少ない なぜ女性を出さないのか

若者の活躍

- 未来を語ってもらうには若い人に活躍してもらう
- 若い人の意見を集約できる場がある
- 未来を語りながら現状を考える
- ワークショップの意見を吸い上げる
- 若い人が活躍していることが見えてこない

キーワード

「住んで良かったまち横川」

〇自発的に活動できる
〇みんなが交流できる、世代間交流・多様な交流(共生)がある
(催し(イベント)、つながりがある)、身近なつながり

・リーダー
・文化、歴史を大事にする
・学校を開放する
・安心、安全なまち
・女性の活躍
・「横川に住んで良かった」
・自然環境の良さを更に伸ばす